

祝 辞

* 敬称略



厚生労働大臣 上野 賢一郎

はじめに、「世界てんかんの日2026」記念イベントの開催を心からお祝いいたします。

また、日本てんかん学会及び日本てんかん協会を始め、関係者の皆様におかれましては、長年にわたり、てんかんに関する正しい理解の普及啓発、てんかんのある方々の保健、医療、福祉の増進と御家族への支援などに御尽力いただいておりますことを、深く感謝申し上げます。

本イベントにおいては、「世界てんかんの日」に合わせ、てんかんに関する講演や当事者からのメッセージ、東京タワー内イベントスペースでの啓発展示などが行われ、てんかんのある方とその御家族を励まし元気を与える企画になっていると伺っています。

このような関係者の皆様の御尽力により、幅広い方々に向けて、てんかんに関する正しい理解の普及啓発活動が展開されることは大変意義深いと考えています。

厚生労働省ではこれまでも、「てんかん診療ネットワーク」の構築、「てんかん地域診療連携体制整備事業」の推進などにより、各地域で適切な医療が提供されるよう体制の整備や正しい知識の普及啓発を図ってまいりました。

こうした中、てんかん支援拠点病院については、日本てんかん学会や日本てんかん協会の力強い御支援の下、今年度も新たに和歌山県に1医療機関が指定され、31都道府県に拡大しました。引き続き、皆様にお力添えいただきながら、てんかん支援拠点病院が全ての都道府県に設置されるよう、努力してまいります。

今後とも、多くの関係者の皆様の声を丁寧に向うとともに、地方自治体等の関係機関とも連携を図りながら、てんかんのある方々が、地域社会の中で安心して暮らすことができる社会の実現を目指してまいりますので、皆様の一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本イベントの御成功と関係者の皆様のますますの御健勝を祈念して、私からのお祝いの言葉といたします。

令和8年2月9日